

水産物の市況について(平成30年9月及び10月)

—東京都中央卸売市場における平成30年9月(平成30年8月21日～平成30年9月20日集計)の市況と、
平成30年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成30年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月と比べ大幅に増加し、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月と比べやや弱含みに推移しました。

II 平成30年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、道東～三陸の水揚げが徐々に減ることから、やや減少すると見込まれ、卸売価格は、高値・横ばいと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、新物の秋サケが出回るものの水揚げ少なく、輸入物の供給量も少ないことから、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、10月に盛漁期を迎える道東・三陸では海水温が高いことから漁獲が伸びずに低調なことから横ばい、卸売価格は、やや強含みと見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、資源が減少傾向で、水揚げが昨年並みに低調なことから横ばいと見込まれ、卸売価格は、生鮮・冷凍とも高値横ばいに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、夏の盛漁期を過ぎたことから少なく横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、キハダマグロを除きやや減少すると見込まれ、卸売価格は、キハダマグロがやや弱含むほか、メバチマグロが横ばい、ミナミマグロとクロマグロがやや強含むと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、漁期終盤を迎え、漁獲が減ってくることからやや減少すると見込まれ、卸売価格は、やや強含むと見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は、盛漁期に入ることから大幅に増加し、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含む
11～20	増加(減少)	強(弱)含む
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含む
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
30年	39	1,101	29	1,128	33	1,086
前年	38	1,095	31	1,124	36	1,047

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	505	96	153	116
さけ・ます(平均)	1,113	105	109	127
(ぎんざけ塩蔵品)	1,024	101	102	120
(あきさけ塩蔵品)	1,153	154	112	136
(ときさけ塩蔵品)	1,049	98	98	112
(べにざけ塩蔵品)	1,290	96	100	117
(さけ類冷凍品)	1,108	106	113	132
さば(生鮮品)	549	117	108	117
するめいか(平均)	710	96	93	131
(生鮮品)	688	95	93	125
(冷凍品)	829	100	92	160
あじ(生鮮品)	565	80	113	99
まぐろ(冷凍品)	1,610	99	94	110
(めばち冷凍品)	1,162	100	88	112
(きはだ冷凍品)	990	96	82	97
(くろまぐろ冷凍品)	3,458	106	103	93
(みなみまぐろ冷凍品)	2,018	102	96	95
かつお(生鮮品)	628	120	93	96
さんま(生鮮品)	595	66	66	99

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:9月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成25年~29年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6613 北川、山崎

直通 03-3591-5612